

* 凛(りん)として: 自分のために! * 輪(りん)として: 仲間のために! * 鈴(りん)として: 社会のために!



*** H30.4/14(土)『りんりん総会&Dr.吉田の乳がん講座・体験談を聞く会』無事に終了!**

★青空で向かえることが出来たりんりん総会の日。

思いがけない好天続きのおかげで桜の花も咲き始めてきたこの日、そう言えば、りんりんの会スタートの頃、毎年4月、定例会終了後に荒雄公園にみんなでお花見に行って、笑いながらお団子やおでんを食べたよね〜って懐かしく思い出されました。(あれから何と13年・・・、継続できていることに感謝ですね。)

★総会終了後から参加していただいた非会員の方々あわせて参加者が**51名**。

毎年開催している「Dr.吉田の乳がん講座」では、「乳がん治療のこれまでとこれから」と題しまして、過去の治療法の変遷から今後のサバイバーシップやゲノム医療に焦点を当てた治療についてなど、合間に楽しい写真の公表で和みながらのお話し。そして今回は、「体験談とRin Rinの軌跡(歩み)」と題して、がん患者の一人として様々な思いを体験したこと・『りんりんの会』が歩き出した頃のことなどのお話も取り入れてみました。参加された方々から、とっても温かい感想などたくさんいただき、幸先の良いスタートになりました。(アンケート回収結果につきましては、後日に活動報告としてまとめて市民病院HP又はりんりんの会ブログに掲載予定です。お楽しみに〜♪)

★昨年度に掲げました「Rin Rin 三つの目標(ビジョン)」～ ①患者会からの身近な情報発信 ②りんりんパッドに関する情報提供 ③ピアサポーター活動による仲間との寄り添い～を今年度も念頭に置きながら、たくさんの患者様方に広く情報をお届けし、少しでもお力になれるような活動を、今後も継続していこうと考えています。

* りんりんの会・今後の予定 *

★5/26(土)10:00～勉強会&情報交換・相談会

*タイトル:『乳房再建の現状と最新情報』

講師:清野広人先生(大崎市民病院形外科科長)

*参加費・・・500円

*講演後に、ドクター・再建を体験された方々(インプラント法・自家組織法・脂肪注入法)と一緒に情報交換・相談会を予定。*乳がん体験者の方々(再建について関心のある方、悩まれている方など)の他に、ご家族や医療関係者の方々も参加可能です。多数のご参加、お待ちしております。

★6/9(土)10:00～「ここりん」開催

*ミニ講話&情報交換・相談会(医療スタッフ参加)

*『若年性乳がんあるある!! 教えて吉田先生♡』

講師:吉田龍一先生(大崎市民病院乳腺外医)

*参加費・・・500円

*ドクターからの貴重な情報の他に、診察室では聞けないこと等、ざっくばらんにお話しが出来る時間もあります。

※20代～40代の患者様対象ですが、それぞれ環境やお悩みも違うので、年齢枠は緩やかに対応しています。

★6/23・24(土)温泉に入ろう会

～作並温泉 ♥ ほっこり・りんりん えがおの旅。～

*今回初の「ピンクリボンのお宿」探検ツアー(一泊)を企画。

*場所:「岩松旅館」(※参加費:15,000円予定)

*みんなで一緒に温泉に入り、いっぱい食べていっぱいおしゃべりして、日頃のストレスを発散し、ゆっくりと、こころもカラダもあたたまって来ませんか?

★「りんりん相談室」OPENについて

(※事務所⇒「相談室」に名称変更しました。)

♪第3水:Tea Time(個人相談会)

♪第4水:パッド作り(一緒に作りましょう!)

*13:00～16:00 *正明薬局(古川三日町)

※りんりんスタッフがお待ちしています。

※第4水(パッド作り:作製希望の方は要予約)

●お問い合わせ～りんりん携帯:090-6259-9205

＜りんりんの会 会則の確認です。＞

- 入会は随時可能。定例会には、会員以外の方（ご家族・医療関係者）でも参加できます。
- 入会手続き・・・定例会参加時にお申し出、入会申込書にご記入いただければ OK です。
- 入会された方は、年会費として 2,000 円（活動運営費として）を納入していただいています。
- 毎回の参加費（資料・菓子代など）につきましては、参加された時に受付でその都度お願いします。
- 入会された会員の方々（1年ごとに更新）には、会報（2か月に1回発行予定）やイベント紹介資料その他を郵送させていただいております。今年度は会報などの郵送のみ希望される（定例会には参加出来ない）場合は、切手・資料代として年間 1,000 円のご協力をお願いしています。

※今回の会報は、昨年度まで参加されていた会員様、あるいは以前に入会時に住所を記入されていた方々に郵送させていただきました。今後、失礼の無いように確認させていただきますが、郵送不要、あるいは退会を希望される方は、**りんりん携帯（090-6259-9205）**まで必ずご連絡(メールでも可)をお願いします。

～りんりん会報に寄せて No.34～

ことわざ

大崎市民病院 乳腺外科科長 吉田 龍一

ことわざとは、Wikipedia によれば、観察と経験そして知識の共有によって、長い時間をかけて形成されたもので、その多くは簡潔で覚えやすく、言い得て妙であり、ある一面の真実を鋭く言い当てているもの、だそうです。今回は病気や医者に関することわざを少し調べて実際と比較してみました。

「**病上手に死下手**」（やまいじょうずにしにべた）ちよいちよい軽い病気はするもののすぐに治り、命取りになるような大病はせず長生きすること。つまり、健康ではないが、病気に敏感で軽いうちに静養するから結局長生きする。むしろ日頃壮健な人は健康に無頓着でぼっくり逝ったりするの意。一理ありますなあ。母親が病気だと子供は病気に対する意識が高く検診を受けるし早い段階で気づくことが多いと思います。

「**病と命は別物**」（やまいといのちはべつもの）病気にかかることと死ぬことは別物で、重い病気にかかったから死ぬとは限らないの意。がんという病気は全くその通り。いいこと言いますなあ。

「**病治りて醫師忘る**」（やまいなおりてくすしわする）病気が治れば医者のおかげを忘れる。つらいことも一時的で過ぎ去ればけろりと忘れるということの意。ま、いいか。

「**病に主なし**」（やまいにぬしなし）病気は誰にでも起こるの意。全くその通り。

「**病は気から**」（やまいはきから）心配事や不愉快なことがあつたりすると病気になりやすい。また、病気になっている場合にはますます病気が重くなる。病気になりたくなかったら、常に心を晴れやかに無益な心配はしないこと、病気を治そうと思うなら病気を忘れるように努めるのがよいという意。まさにその通り。そんな方が沢山います。

「**病は口より入り災いは口より出づ**」（やまいはくちよりいりわざわいはくちよりいづ）

病気は口に入れる食べ物や飲物から出るが、災難は口から出ることばがもとで引き起こされるものだから口は慎まなければならないの意。身に覚えがありますなあ。

「**病を知れば癒ゆるに近し**」（やまいをしればいゆるにちかし）病気は原因がわかればまもなく治る。転じて、自分の欠点に気づけば直すことも難しいことではないの意。病気を治すことはそう簡単ではないので、むしろ自分の欠点に気づいてもなかなか直せないんじゃないですかねえ。

「**藪医者の玄関**」(やぶいしゃのげんかん) 不相応に立派な玄関を示す。藪医者は家の立派さで患者を信用せよと立派な玄関を構える。他の職業でも建物が立派だと内容もよいように見えるの意。市民病院はそうならないよう日夜努力しています。

「**藪医者の手柄話**」(やぶいしゃのてがらばなし) 下手な医者ほどあだこだと自慢したがるの意。気をつけねば。

「**藪医者の病人選び**」(やぶいしゃのびょうにんえらび) 下手な者ほど仕事のえり好みをする例え。そんなことはしないようにしています。それにしても、昔からなぜ医者ばかりこんなふうに言われたんでしょうね。ひどい医者が沢山いたんでしょうかねえ。

「**藪医者の薬味筆筒**」(やぶいしゃのやくみだんす) 藪医者ほど立派な薬味筆筒を持っているということ。腕の悪い者に限って道具を選ぶことの例え。ああ、そういう外科医いますね。藪医者には手厳しいですね。

「**医者が取るか坊主が取るか**」(いしゃがとるかぼうずがとるか) 生死の境を行きつ戻りつしている重い病人のこと。うまいこと言いますねえ。

「**医者寒からず儒者寒し**」(いしやさむからずじゆしやさむからし) 医者は貧乏しないが、学者は貧乏する。医者は病気を治して感謝されお礼を沢山もらうが、学者は生活の役に立つことは少ないのでお礼も少ないのだと。一理ありますね。ノーベル賞などを取れば別でしょうけど、概ね大学教授は薄給です。

「**医者上手にかかり下手**」(いしやじょうずにかかりべた) 医者がどんなに名医であっても病人が医者の言うとおりにしなければ治らない。相手を信用しなければどんなこともできない例え。確かにそういうことが多いかも知れませんが、そうじゃないことも意外とあります。

「**医者と味噌は古いほどよい**」(いしやとみそはふるいほどよい) 味噌はわかりませんが、医者は確かにそういう一面はあります。もちろん例外はありますが。

「**医者の自脈効目なし**」(いしやのじみやくききめなし) 医者は自身が病気になると治せない。皮肉で医学が当てにならないことを一番知っているからとも。ん～、納得できるところもあり!?

「**医者の不養生**」(いしやのふようじょう) まさに自分のことです。人には痩せろと言いますが・・・さて皆さんに向けて。

「**美人に年なし**」(びじんにとしなし) 美人はいくつになっても若く美しく見えるということ。喜んでいただけましたか?でも、逆に、

「**美人の終わりは猿になる**」(びじんのおわりはさるになる) 美しい女性は歳をとるとかえって人一倍醜くなるということ。こんなこと言っているんでしょうか。今ならセクハラですよ。

「**美人薄命**」(びじんはくめい) これは自分のことだと思う方は少ないと思いますが・・・ことわざというのは、確かに言い得て妙ですね。藪医者の云々と言われたいよう気をつけます。

* イベントのご紹介 *

- ピクニックが東北支部主催・・・5/26(土)13:00～「**Cancer Lifestyle – 今をあなたらしく生きるために**」
- マンマの会パセリ主催・・・7/1(日)12:30～ **第17回集い・講演会「私と家族の乳がん**」

* [大崎市民病院 HP](#)、又は[りんりんの会ブログ](#)などでりんりん情報(イベントご案内・手作りパッド関連)を随時更新しています。[がん情報みやぎ HP](#)でもイベント情報・患者会情報など検索できます。

* 連絡窓口 *

大崎市民病院地域医療連携室 がんサロン ☎ 0229-23-3311